

基礎看護学実習 (3 単位)

実習目的

1. 看護の対象を理解し、患者に行われている援助を通して看護の役割を学ぶ。
2. 看護実践に必要な基礎的能力と態度を養う。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設
基礎看護学実習 I	1 単位	1 年次	静岡済生会総合病院
基礎看護学実習 II	2 単位		

基礎看護学実習 I (1 単位)

1. 実習目標

- 1) 病院の概要と各職種の連携を知る。
- 2) 患者の療養環境を知る。
- 3) 看護実践に参加し看護について考える。
- 4) 実習を通して看護学生として望ましい姿勢・態度を学ぶ。

2. 行動目標

- 1) 病院の構造・設備とその機能、目的、各職種を知る。
- 2) 病棟、病室の構造と設備とその機能、目的を知る。
- 3) 患者の療養生活を整える視点と必要性を知る。
- 4) 病棟における看護活動を体験し、活動内容、目的、方法を知る。
- 5) 援助場面やコミュニケーションを通し患者の思いを知る。
- 6) 看護において基本となる患者との関係構築が重要であることに気づく。
- 7) 看護学生として実習マナーを守る。
- 8) 看護に興味を持ち、自主的に学習する。

3. 実習方法

見学および体験をする。

- 1) 実習 1 日目午前中に学内にて実習の目的、方法の説明を受け、ビジョン・ゴールを明確にする。
実習計画を立案し、自己課題に沿って事前学習を確認し追加、補足する。
- 2) 実習 1 日目午後には病院の概要説明を受ける。その後病院見学を行う。
 - (1) 病院の理念・看護部の理念
 - (2) 病院で働く職種の役割と連携
 - (3) 地域との関連や病院が持つ役割
 - (4) 施設の防災・安全対策
- 3) 実習 2 日目に病棟の概要説明を受ける。
 - (1) 病棟・病室の設備とその機能、目的

(2) 病棟における看護活動の内容、目的、方法

- ・直接的看護活動
- ・保健医療チーム活動（看護師間、他部門との連携等）
- ・患者へ配慮

- 4) 生活環境としての病棟、病室の温度・湿度・空気・音・光・匂い・プライバシーへの配慮の重要性を把握する。
←2日目午後の行う環境調査と日々の看護師との環境整備より学ぶ
- 5) 指導者（担当看護師）の看護活動を見学し、その活動内容、目的、方法について説明を受ける。
- 6) 可能であれば、指導者と一緒に援助技術を実施する。
- 7) 指導者（担当看護師）が設定した場面を通して患者とコミュニケーションをはかる。
- 8) 実習終了後は行動記録を記載する。
- 9) 帰校後、学内にてカンファレンスを行い学びの整理をする。
- 10) 最終日、学びのまとめを行う。午後は病棟指導者とカンファレンスを行い、終了後全体で学びの共有をする。
- 11) 実習終了後、「看護にとって大切なこと」（テーマ）で実習の学びのレポートを記載する。